

しらはま 協働 つうしん

発行：南房総市 白浜地域づくり協議会「きらり」 企画編集：地域づくり支援員（片桐・平野）
〒295-0192 南房総市白浜町白浜3467-1（南房総市役所白浜地域センター内）

TEL 0470-38-3463（きらり直通） FAX 0470-38-2591

白浜地域づくり協議会「きらり」の運営委員会は毎月第二木曜日です！

「きらり」活動の紹介

【美化活動】

8月16日（日）今年度初となるごみ拾いを
東横渚コミュニティセンター周辺で行いました。

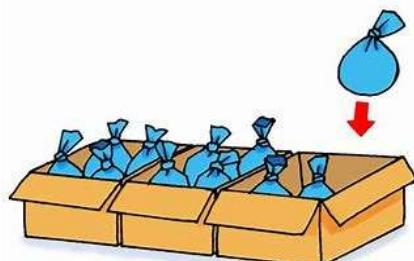
今年度はコロナ禍で活動自粛期間が長く、ごみ拾いは8月にやっと再開する事ができました。猛暑日が続いているので、時間を短縮し17名で30分程度ごみを拾いました。耕作放棄地となった農道脇の畠は、草が伸びイノシシに荒らされ、ごみが見えなかったせいか、集めたごみはボランティア袋7袋程度と、とても少なかったです。次回は9月20日（日）銀鱗橋周辺で行います。



「きらり」は毎月第三日曜日にごみ拾いを行っています。一般参加も大歓迎です。また臨時美化活動を行うこともありますので、何かありましたらご連絡、ご相談ください。

シリーズ「災害に備えよう！」その1 「水のう」

台風や集中豪雨などの大雨時、家の中への浸水を防ぐために一般的に「土のう」が使用されますが、女性やお年寄りの方々が取り扱うには重くて大変です。そこで、家庭にあるもので簡易的に作れる「水のう」をご紹介します。



【用意する物】

家庭用ごみ袋（ビニール袋）2枚
水（ホースがあると便利です）

【作り方】

ごみ袋を二重にし、中に半分程度水を入れる。
袋の中の空気を抜いて、口を結び完成。

- * トイレ、浴室、洗濯機、キッチンの排水溝にそのまま置けば下水の逆流を防げます。
- * 外からの浸水には、段ボールの中に水のうを入れて玄関付近に設置します。
- * 使用後はトイレ等にビニールを流してしまわないようご注意ください。

白浜中学校で防災教室が行われました

8月28日(金)に白浜中学校(職員11名、生徒58名)で、南房総市職員を講師に招き、災害時に自分達に出来ることは何かについて学習し、実践形式で訓練を行いました。座学では東日本大震災で実際にあった出来事を参考に、自分達の率先した行動で沢山の命が守られた事を学びました。また中学校が避難所として開設された際の準備等を体験しました。現在のコロナ禍で避難所も感染対策が重要となっています。そのため避難所運営には多くの人手が必要になることが予想されます。感染対策をした避難所開設時には、今回の訓練を活かした行動ができるでしょう。



昨年の台風で被災した体育館も無事修復し、利用可能となった。



簡易トイレ・テント設営



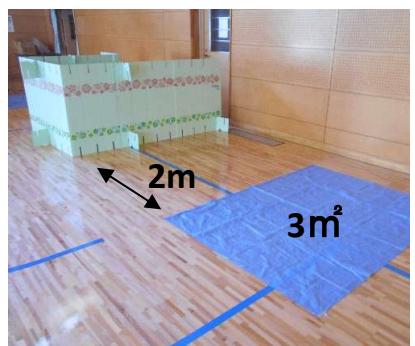
一人ずつ発電機の作動体験



段ボールベットは小さい箱を24個組み立て一組が完成。



受付前の手指消毒、検温、問診。
その後受付し避難所内へ。



避難所では隣とのスペースを2m開けます。

「避難」とは「難」を「避」けること。

自宅での安全確保が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。安全な親戚や友人の家に避難する事もお勧めします。また、市の開設する避難所には、要配慮者が利用できる「おもいやりルーム」や、妊婦や乳幼児が利用できる母子福祉避難所もあります。不安のある方は事前に確認し災害時に備えましょう。



【初期避難所】

白浜コミュニティセンター

【広域避難所】

白浜小学校

白浜中学校

※ 避難所の開設については、防災行政無線及び安全安心メールでお知らせします。